

課題研究 1 学期自己評価シート

2年 組 番 () 講座番号 [] 評価日 (2021. . .)

○1 学期の自身の取り組みを振り返り、自己評価をしてください。4つの項目を、それぞれABCで評価してみてください。ABCから一つ選んで○をつけ、評価理由を記入してください。

(1) 研究ノート

	授業中に取り組んだこと (学内) が書けている	気がついたこと (気づき) が書けている	活かしてみたいこと (活用) が書けている
A	○	○	○
B	○	○	なし
C	○	なし	なし

評価理由 ()

(2) 未知に挑戦する好奇心 ※課題一答えを導き出した問いに対して、理由とその根拠を揃えたもの。

A	自分の好奇心・関心に基づき、課題意識をもち、「問い」を解決の見通しの立つ課題にすることができている。
B	自分の好奇心・関心に基づき、課題意識をもち、「問い」へと導くことができている。
C	自分の好奇心・関心に基づき疑問点を発見している。

評価理由 ()

(3) 物事を多角的に見る力

A	課題を解決するための、実現可能な研究方法を、複数挙げることができる。
B	課題を解決するための、実現可能な研究方法を挙げることができる。
C	課題を解決するための、実現可能な研究方法を検討できる。

評価理由 ()

(4) 情報を収集する力

A	目的に応じて情報を抽出し、研究に関連する分野に限定しない知識を習得し、自分の言葉で説明することができる。
B	目的に応じて情報を抽出し、研究に関連する知識を、自分の言葉で説明することができる。
C	目的に応じた情報収集ができていない。

評価理由 ()

(5) 担当者に伝えておきたいこと、共有したいことを、自由に書いてください。

課題研究 3 学期自己評価シート

2年 組 番 () 講座番号 [] 評価日 (2022. . .)

○以下は、皆さんの3学期の目標を表したものです。3学期の最後に自分の取り組みを振り返り、自己評価をしてください。(各項目A、B、Cより一つ選び、○をつけてください。)

(1) 研究ノート 青い本 p.99 の書き方を参考にしましょう。

	取り組んだこと (学内) が整理できている	気がついたこと (気づき) が書けている	次の計画案や、活かしてみたいこと (活用) が書けている
A	○	○	○
B	○	○	なし
C	○	なし	なし

※次に何をするかを具体的に書く

(2) 他者と連携する姿勢

A	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討することができる。
B	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討する姿勢を備えている。
C	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けることができる。

(3) 伝えたいことを形にする力

A	自己の研究を他者の視点で再点検し、他者に分かりやすい形で再構成し、伝えることができる。
B	自己の研究の全体像を理解し、自分なりの発表の形にまとめることができる。
C	フォーマットに則って、研究内容を発表の形にまとめることができる。

(4) 自己表現し他者と連携する力

A	聴衆の特性を理解し、質問の意図を正しく理解し、回答することができる。また聞き手として生じた疑問を質問できる。
B	聴衆の特性を理解し、質問を想定した準備ができる。また聞き手として生じた疑問を質問することができる。
C	質問を想定した準備ができる。また聞き手として疑問をもつことができる。

(5) 自己を客観的に見つめる力

A	研究過程を振り返り、今後どのように生かしていくかについて、自分の言葉で説明することができる。
B	研究過程を振り返り、自分の言葉で説明することができる。
C	研究過程を振り返ることができる。

○今年度最後です。担当者に伝えておきたいこと、共有しておきたいこと書いてください。

課題研究 2 学期自己評価シート

2年 組 番 () 講座番号 [] 評価日 (2021. . .)

○以下は、皆さんの2学期の目標を表したものです。2学期の最後に、自分の取り組みを振り返り、自己評価をしてください。(各項目A、B、Cより一つ選び、○をつけてください。)

(1) 研究ノート 青い本 p.99 の書き方を参考にしましょう。

	取り組んだこと (学内) が整理できている	気がついたこと (気づき) が書けている	次の計画案や、活かしてみたいこと (活用) が書けている
A	○	○	○
B	○	○	なし
C	○	なし	なし

※次に何をするかを具体的に書く

(2) 見通しをたてる力 (答えのない問いに向き合う姿勢)

A	解決の見通しを立てた課題について、複数の可能性から、自らの状況にあった手法を選択し、研究をすすめることができる。
B	解決の見通しを立てた課題について、自らの状況にあった手法を用いながら、研究をすすめることができる。
C	解決の見通しを立てた課題について、自らの状況にあった手法を探している。

(3) 論理的、批判的に思考する力

A	答えに対する他のアプローチの可能性を示唆しながら、説得力のある理由や複数の根拠に基づいて、自分の考えを主張することができる。
B	説得力のある理由や複数の根拠に基づいて、自分の考えを主張することができる。
C	自分の考えを主張することができる。

(4) テーマ及び研究の対象についての知識の習得及び活用する力、情報を活用する力

A	直接研究に関わる知識だけでなく、研究を推進する深い知識を備え、適切に活用できる。
B	研究を推進する知識を備え、適切に活用できる。
C	研究を推進する知識の習得をしている。

※「活用する力」とは対象について理解し自分の言葉で説明ができる、目的に応じて情報収集したり、どの情報を使うか判断したり、処理をしたり、他者に伝えるように表現する力を指します。

(5) 仲間と協働する姿勢

A	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討することができる。
B	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討する姿勢を備えている。
C	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けることができる。

○担当者に伝えておきたいこと、共有しておきたいこと書いてください。

課題研究「中間発表会」他己評価シート

2年 組 番 () 講座番号 [] 評価日 (2021. . .)

◆以下の5つの内容について、3段階で評価をしてください。

(1) 伝えたいことを形にする力①

A	必要な構成要素(①動機(課題の背景、課題設定の目的)②研究方法、③考察、④*展望、⑤引用・参考文献)が全て含まれており、その内容が充実している。
B	必要な構成要素(①動機(課題の背景、課題設定の目的)②研究方法、③考察、④*展望、⑤引用・参考文献)が全て含まれている。
C	必要な構成要素(①動機(課題の背景、課題設定の目的)②研究方法、③考察、④*展望、⑤引用・参考文献)が、3つ以上含まれている。

④*展望については、「不足している点をどのように補うか」を含む

(2) 伝えたいことを形にする力②

A	図や表を使って結果がわかりやすくまとめられている。また、発表中に図や表について説明がなされている。
B	図や表を使って結果がわかりやすくまとめられている。
C	図や表を使って結果がまとめられている。

(3) 伝えたいことを形にする力③

A	ポスターごとのつながり、見出しが効果的に使われており、論理の流れがわかりやすい。
B	論理の流れがわかりやすい。
C	論理の流れを意識して伝えようとしている。

(4) 表現し連携する力①

A	何を伝えたいかが明確になっており、声の大きさや目線、抑揚などの発表態度も適切である。
B	声の大きさや目線、抑揚などの発表態度が適切である。
C	声の大きさや目線、抑揚などを意識して発表しようとしている。

(5) 表現し連携する力②

A	聴衆の特性を理解して話ができ、質問者の意図を理解したうえで質疑応答を行っている。
B	聴衆の特性を理解して話ができ、質疑応答を行っている。
C	聴衆の特性を理解して話をしようとしている。

◆発表者に伝えたいことを具体的に記入してください。(よかった点・改善点・興味深かった点 など)